



# 2021-2022 いわき平中央 ロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

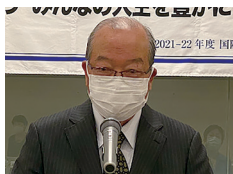
クラブ | 持続可能なロータリークラブ活動、30周年へ向けて  
テーマ | いわき平中央ロータリークラブの想いの継承とDXへの変化対応

2022年3月18日(金) 第1352回(年度第25回)

■事務所 / 〒970-8026 福島県いわき市平字白銀町4-1  
不二屋第二ビル 2F TEL&FAX0246-25-3000  
■例会場 / 〒970-8026 福島県いわき市平字田町1-1  
いわきワシントンホテル椿山荘 TEL0246-35-3373  
■例会日 / 金曜日 12:30~13:30

## 今日のプログラム

- 開会点鐘
- ソング / 奉仕の理想
- 四つのテスト / 青木喜三郎会員
- 会長挨拶
- 幹事報告
- 誕生祝い / 河辺剛会員 3月15日
- 外部卓話 / 里見喜生さん
- 閉会点鐘



## 出席 & スマイル

- 出席 17名 45%
- リモート1名(渡邊さん)
- ゲスト1名
- スマイル 10名 10,000円



ご協力  
ありがとう  
ございます♪



## 会長挨拶

3月16日に福島県沖地震最大震度6強が見舞われました。

被災された地域の皆様にはお見舞い申し上げます。皆様は大丈夫だったでしょうか？

福島県では、県北や相馬市、南相馬市などが、大きな揺れで家財の被害や、停電、断水をされています。11年前の記憶がよみがえってきます。余震には気を付けていきましょう。

まずは報告ですが、先週11年前の震災の慰霊とウクライナの人道支援で、道の駅四倉港においてウクライナ出身のカテリーナさんの演奏会と人道支援の募金活動がございました。皆様から心温まる浄財をいわき平中央ロータリークラブを代表しカテリーナさんにお渡ししてきました。また鈴木一永エレクトが2日間のPETS研修を中身の濃いオンライン研修をされてきております。昨日は曾我会員が川崎ロータリークラブでの地震の影響で常磐線が不通の為、川崎ロータリークラブのゲスト卓話で、オンライン例会での卓話をされてきました。会長エレクトと次期幹事お疲れ様でした。

今日は「グローバル・リサイクルデー」です。ロータリークラブの重点テーマの一つである「環境」で我々も意識し実践することがより良い地域になっていくのではないのでしょうか。地震直後である本日の卓話は、ゲストでお越しいただいた古滝屋の館主である里見喜生さまの



## 幹事報告

1. 例会後、理事会開催
2. 30周年記念式典に前橋RC5名参加の返事あり
3. 回覧 勿来RCプログラム
4. 4/17はRC奉仕デーで薄磯海岸清掃
5. 3/25は観桜例会



## 誕生祝い

河辺剛会員

55歳になったので金髪にしました！



## 今日の MENU



サーモン、タケノコご飯、豚汁 デザート 牛皮といちごあん



4

外部卓話

元禄彩雅宿「古滝屋」館主  
里見喜生さん



四つの災いを乗り越えて

古滝屋は小名浜港から採れた新鮮な魚を料理に出すのが売りの一つでしたが、震災後はそれができなくなってしまいました。140人スタッフは避難してちりぢりになりました。その時、別府温泉の知人からも「空き旅館があるから心機一転でこちらで始めたら？」という誘いを受け、正直迷いました。もし父親だったら、おじいさんどうしたかな、と考え、遺品整理をしたら、歴史的にも貴重ないろいろなものが出てきました。元禄年間から始まり、300年以上の歴史の中で、旅館業以外のこともしていた時代がありました。別に観光旅館にこだわらず、地元のために役立つことをすればいいと、結局4ヶ月休業して、復興支援のボランティアの方のための宿泊を提供するために、スタッフ10名で2011年7月に再開しました。双葉のサテライト高校の寄宿舎としての受け入れもしました。

その後、旅館業だけではなく、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトに関わるようになりました。こちらは食用ではなく、塩害にも強い綿を有機栽培で育て、収穫されるコットンを製品化・販売する一連の取り組みで、地域に活気と仕事を生み出すことを目的とし、福島から新しい農業と繊維産業を作ることを実践しています。

子どもたちと一緒に活動しています。服づくりはとても大変です。夏は雑草との闘い、綿の収穫した後も多くの工程とエネルギーを使って、製品になることがわかります。

チェーン店と違って旅館業は土着企業。我々はこの生き延びなければならない。そうなる一人だけというわけには限界があります。そのためには、仲間達と乗り越えていくことが必要だということを改めて、震災後に感じました。

震災前までは、他県から観光目的で受け入れるということが多かったのですが、震災後は地元の方に法事や節

句などのお祝いごとで利用していただくという機会が増えました。コロナ禍でも観光業界は大変でしたが、おかげさまで古滝屋は地域の方にご利用していただけで、なんとか乗り越えることができています。

子どもたちにどんな社会、自然環境を渡すことができるか？それが今の活動の中では大きな命題です。



5

スマイル

- 小澤准一会長 ●大平守彦幹事 ●鈴木清友会員
- 今野建男会員 ●松本三智代会員 / 3/16の福島県沖地震はすごかったですね。皆様被害は大丈夫でしょうか？被害に遭われた方の一日も早い復旧をお祈りいたします。
- 大平守彦幹事 ●高橋孝光会員 ●鈴木清友会員
- 横山利雄会員 ●今野建男会員 ●青木喜三郎会員 / 本日は2回目のハイブリッド例会です。里見様の卓話楽しみに来ました。よろしくお祈りします。
- 松本三智代会員 / 春の陽気から一変して冷たい雨ですネ!!
- 芳賀敏郎会員 / 今日は寒いですね。お体に気をつけて下さい!
- 鈴木一永会員 / 本日はバースデー！53歳。皆様これからもよろしくお祈りいたします。